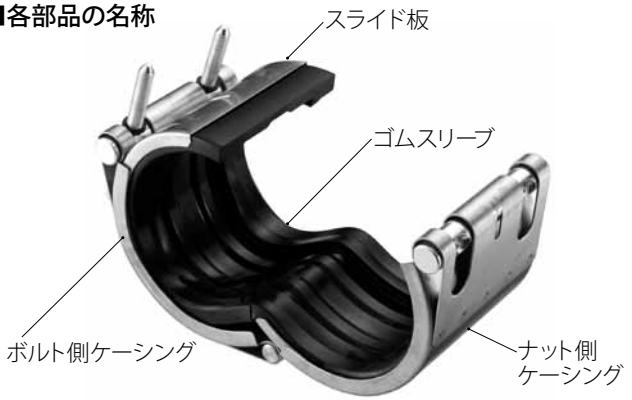
SHO-BOND
SHO-BOND GROUP

ストラブ・クランプ Cタイプ
【50A～300A】
取扱説明書

■各部品の名称



取付け作業を行う前に、必ず『**安全上のご注意**』をお読みのうえ、『**施工手順書**』に従って、正しくご使用下さい。
なお、ご不明な点がございましたら当社ホームページまたは、下記の営業所にお問い合わせ下さい。

■**東京営業所**：〒103-0015　東京都中央区日本橋箱崎町 7-8
TEL. 03-6861-7411（代表）　FAX. 03-6861-7421

■**大阪営業所**：〒536-0022　大阪市城東区永田3-12-15
TEL. 06-6965-7235（代表）　FAX. 06-6965-7236

■**HPアドレス**：http://www.sb-coupling.co.jp/

安全上のご注意 【必ずお守り下さい】

この取扱説明書では、製品を安全に正しくご使用いただき、人的危害や財産への損害を防止するため、遵守いただきたい事項を記載しております。

■**絵記号の意味**

⚠ **注意**	注意（危険・警告を含む）を促す事項
⃠ **禁止**	決しておこなってはいけない禁止事項
❗ **強制**	必ずおこなっていただく強制事項

⚠ 警告　**記載事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。**

❗強制	本体は構造上、鋭利な箇所がありますので必ず、作業用手袋等の保護具を着用し作業を行って下さい。
⃠禁止	製品を取り外す際、配管内の圧力が完全にゼロまで下がっていない場合は、絶対にボルトを緩めないで下さい。
❗強制	流体が本製品の適用範囲内であることを確認して下さい。 （流体の種類・流体温度：－30～100℃／EPDM、－20～80℃／NBR）
❗強制	使用圧力が適用範囲内であることを確認して下さい。
❗強制	埋設管に使用する場合は腐食防止のため、ポリエチレンスリーブやペトロラタム系の防食テープ等で必ず防食処置を行って下さい。
⃠禁止	使用者は構成部品の組ばらしを当社の許可無く行わないで下さい。

⚠ 警告　**記載事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。**

❗強制	50A～150Aに限り、蒸気配管にも使用可能ですが、必ずボイラーを停止し配管を冷ましてから取り付けて下さい。また、温度によって寿命が異なりますのでご注意下さい。 （当社の実験試験では、160℃で3ヶ月、140℃で1年程度）

⚠ 注意　**記載事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。**

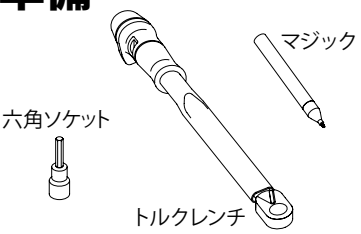
⃠禁止	直射日光の当たる場所やほこりが多い場所、および振動が激しい場所には保管・放置しないで下さい。
❗強制	ボルトの締め付けには必ずトルクレンチをご使用いただき、当社が規定するトルク値にて締め付けて下さい。（締め付け量の不足による漏洩やボルトが破断する原因になります）
⚠注意	腐食環境で使用する場合は、状況に応じて防食処置や定期的な確認を行って下さい。
⚠注意	漏れ量が多い場合は、規定のトルク値にて締め付けても漏れが止まらない場合があります。その場合は止まるまで増し締めを行って下さい。 （ただし、規定のトルク値の2倍までとします。）

施工手順書

1 作業前の準備

◆取付けに必要な道具類

・石けん水



◆パイプの清掃

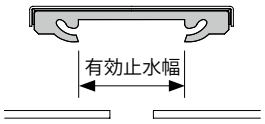
本体を取り付ける箇所は、サビ、汚れを除去し、
著しい凹みはコーキング材で埋めて下さい。

2 漏洩範囲の確認

・管の割れ、および大きなピンホールからの漏洩の場合は、止水範囲をご確認下さい。

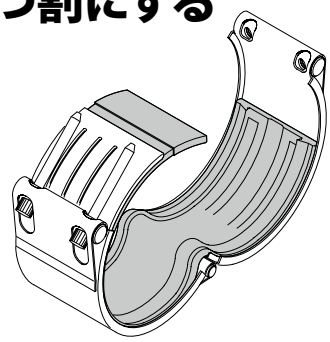
【クランプの止水範囲】

呼び径	有効止水幅
50	40mm
65/80/100	50mm
125/150	60mm
200～300	90mm



3 本体を二つ割にする

・2本のボルトを緩めて図のように開いて下さい。

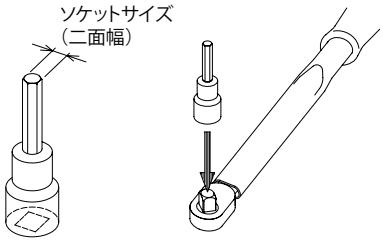


4 トルクレンチのセット

◆六角ソケットの取付け

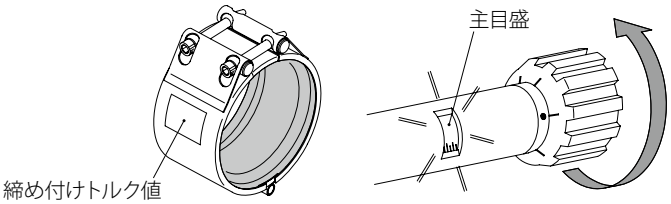
・ソケットはボルトのサイズによって異なります。

呼び径	ソケットサイズ
50 ～ 100	6mm
125/150	8mm
200 ～ 300	14mm



◆トルク値の設定

・カップリング本体のラベルに表示されている『締め付けトルク値』と、トルクレンチの主目盛を合わせます。

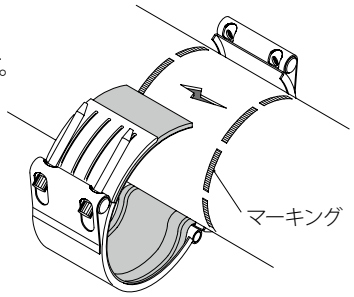


※詳しくはトルクレンチ添付の取扱説明書をご覧下さい。

5 補修箇所に取り付けます

・補修箇所(割れ、ピンホール)を中心として左右にマーキングします。

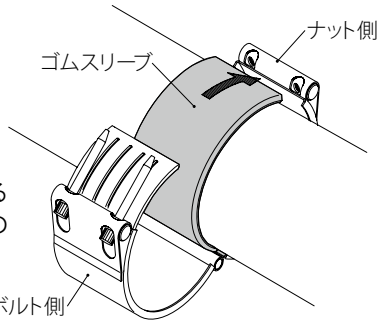
・マーキング幅は、ケーシングの幅と同じ寸法にします。



・ゴムを滑りやすくするため、パイプの表面に石けん水を塗布します。

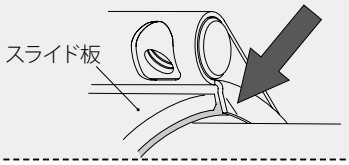
・マーキングに合わせてナット側ケーシングを配置します。

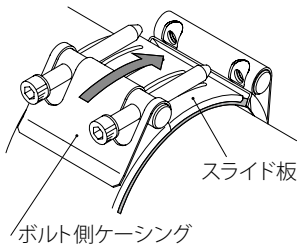
・ゴムスリーブを管に巻き付けるように、管とナット側ケーシングの隙間に差し込みます。



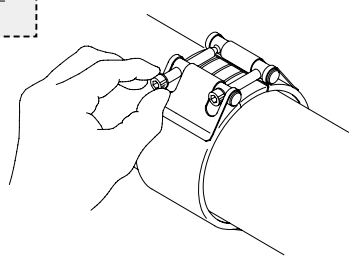
・ボルト側ケーシングをゴムスリーブの上にかぶせるように閉じます。

⚠ スライド板がケーシングの端にひっかかっていないか、両サイドをよく確認して下さい。





・ボルトをナット穴に通し、ネジ2～3山分回してケーシングが開かないように仮止めしておきます。



6 ボルトの締付け

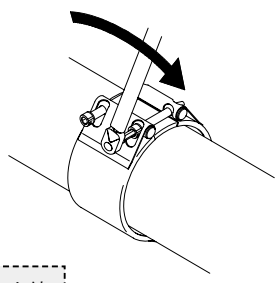
・目安としては、片側のボルトを3回転程度締め付けたら、もう一方のボルトに移り、同様に締め込みます。この作業を繰り返します。

⚠ ボルトが片締めにならないように充分にご注意下さい。

◆締付け作業完了

・設定したトルク値になると、トルクレンチが『**カチン！**』と合図します。

・もう片方も合図があるまで締め込みます。この作業を**5～6回繰り返し行い**、左右のボルトが均等に所定のトルク値になるまで締め込みます。



⚠ 漏洩が止まらない場合は、規定のトルク値の2倍を限度に増し締めを行って下さい。